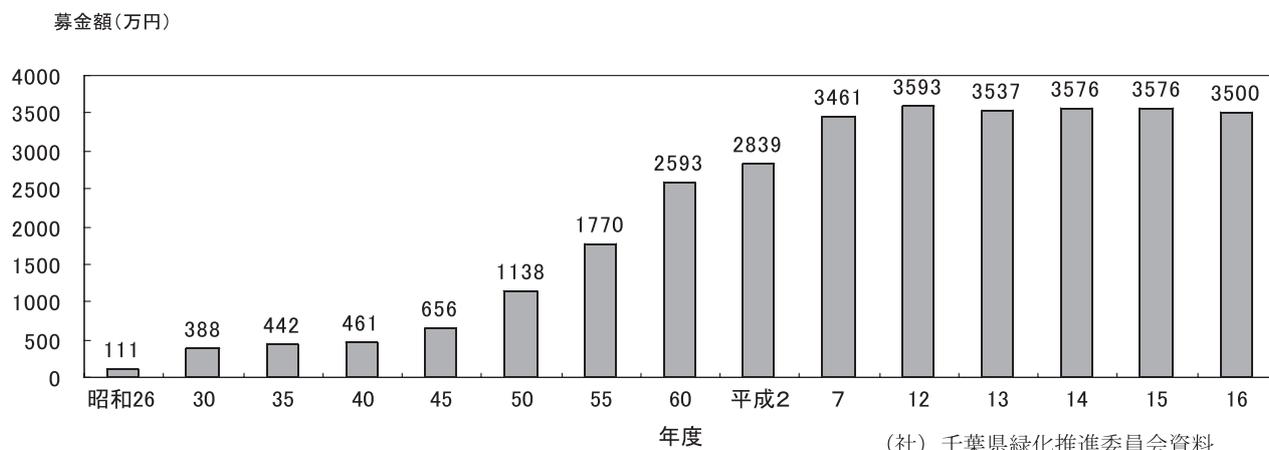


8. 環境緑化

緑の募金実績



－ 県民参加の緑づくりを進める －

森林に代表されるみどりは、その恵みを通じて私たちの暮らしをさまざまな面から支えてくれており、県民のみどりに対する関心は大きな高まりを見せています。

このような県民の関心に応え、みどりづくりに対する県民の参加と普及・啓発を図るため、県と社団法人千葉県緑化推進委員会は、全国緑化キャンペーン期間中(3/1～5/31)の「みどりの週間(4/23～4/29)」や「みどりの日(4/29)」に多彩な行事を展開している。

平成15年5月に施行した「千葉県里山の保全、整備及び活用の促進に関する条例」に定められた「里山の日」の行事として、第1回里山フェスティバルを5月15日に、かずさアカデミアパークにおいて開催し、県民のみどりづくりの意識の高揚に努めた。

当日は、「里山シンポジウム」、下刈り等の「里山体験」及び農林水産物の展示・販売等の「里山の市」に、多くの県民が参加し、森林、林業の現状について理解を深めることができた。

県が、里山活動団体と土地所有者との間で締結した里山活動協定の認定件数は、平成16年度16件で平成15年度認定と併せ38件となった。

平成16年9月17日、里山活動団体間のネットワークの構築、里山整備のための技術指導・研修や里山新聞の発行などを主な業務とする「ちば里山センター」が里山活動団体により任意団体として設立された。その記念として里山フォーラムINちばが平成17年1月23日、市原市で開催され、加藤登紀子さんと知事との里山に関わる対談や里山活動を行う団体と企業からの活動発表及び森林療法に関する取組の中間報告などに1,500名を超える県民の参加があり、これらを契機に県下で里山活動が活発に展開されている。

また、戦後の山林の復興を目標に昭和26年から始まった緑の羽根募金は、平成7年度制定された緑の募金法により緑の募金が新たに始まり、平成16年募金実績は35,000千円で、寄せられた浄財は、各種の緑化事業に役立てられている。

さらに、社団法人千葉県緑化推進委員会は、緑化推進事業の安定的な遂行のため、千葉県緑化基金(目標額2億円)の造成をすすめている。